



出水期に備えた鳥取県情報連絡会議

【日 時】令和6年6月10日(月) 午前10時30分～

【場 所】災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）

【参加者】知事、副知事、統轄監、関係部局

鳥取地方気象台、鳥取河川国道事務所、
中国電力（株）・中国電力ネットワーク（株）、
NTT西日本（株）

（配信）総合事務所、市町村、県警、消防局、自衛隊（米子駐屯地）、
倉吉河川国道事務所、鳥取運輸支局、NEXCO西日本(株)

【次 第】

- （1）本年の出水期の気象予測等
- （2）市町村・県民への注意喚起
- （3）警戒・即応体制の確保等

1

1か月予報

（中国地方（山口県を除く） 1か月予報（06/08～07/07））

中国地方（山口県を除く） 1か月予報（06/08～07/07）		
2024年06月06日14時30分 広島地方気象台 発表		
向こう1か月 06/08～07/07	天候	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率50%です。
1週目 06/08～06/14	気温	1週目は、平年並の確率50%です。
2週目 06/15～06/21	気温	2週目は、高い確率50%です。
3～4週目 06/22～07/05	気温	3～4週目は、高い確率50%です。

気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）			
気温	中国地方	向こう1か月 06/08～07/07	
		1週目 06/08～06/14	
		2週目 06/15～06/21	
		3～4週目 06/22～07/05	
降水量	中国地方	向こう1か月 06/08～07/07	
日照時間	中国地方	向こう1か月 06/08～07/07	

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

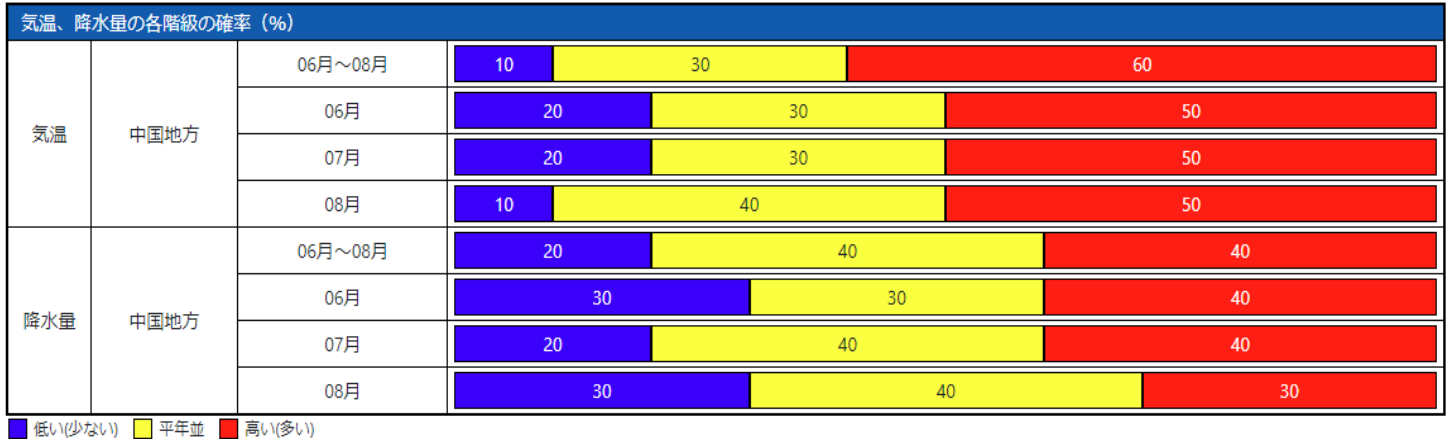
次回は2024年06月13日(木)14時30分に発表予定

2

8月までの天候見通し

(中国地方3か月予報 5月21日発表より)

中国地方 (山口県を除く) 3か月予報 (06月~08月)		
2024年05月21日14時00分 広島地方気象台 発表		
06月~08月	気温	平均気温は、高い確率60%です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
06月	天候	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。
07月	天候	期間の前半は、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。
08月	天候	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
	気温	気温は、高い確率50%です。

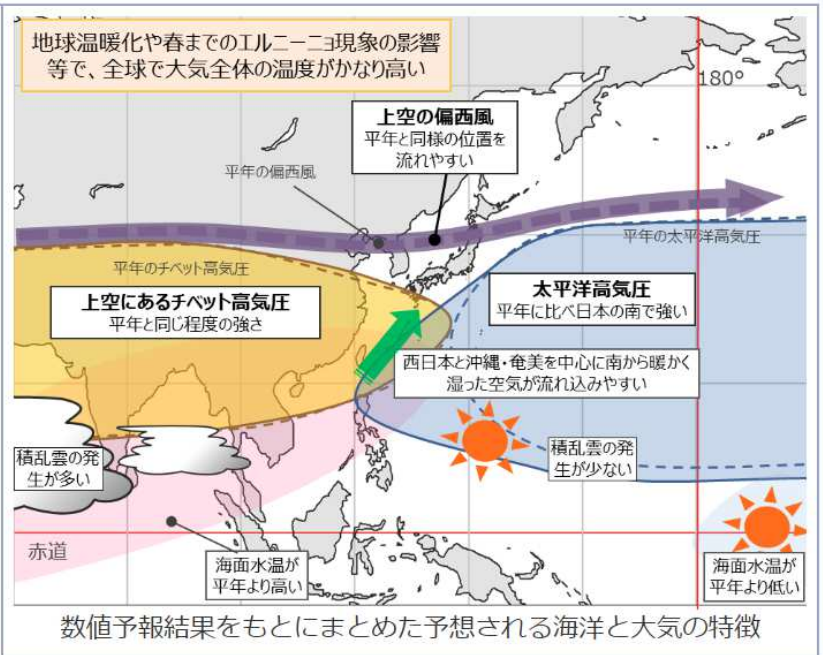


次回は2024年6月25日(火)14時00分に発表予定

3

予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化や春までのエルニーニョ現象の影響等により、全球で大気全体の温度がかなり高いでしょう。
- インド洋熱帯域では西部を中心に海面水温が高く、積乱雲の発生が多い一方、フィリピンの東方海上では少ないでしょう。
- この影響により、日本の南で太平洋高気圧が強くなり、日本付近には太平洋高気圧の縁を回って暖かく湿った空気が流れ込みやすいでしょう。
- これらのことから、日本付近は、暖かい空気に覆われやすいでしょう。また、西日本と沖縄・奄美を中心に、前線や湿った空気の影響を受けやすいでしょう。



中国地方3か月予報 (令和6年5月21日発表) の解説資料より

[中国地方の梅雨]

平年	入り	6月6日ごろ	明け	7月19日ごろ
令和5年	入り	5月29日ごろ	明け	7月16日ごろ

注) 梅雨入り・明けは、一般に数日程度の幅を持つ現象 (〇〇日ごろと表現)。

梅雨入り・明け (速報値) https://www.data.jma.go.jp/cpd/baiu/sokuhou_baiu.html

4

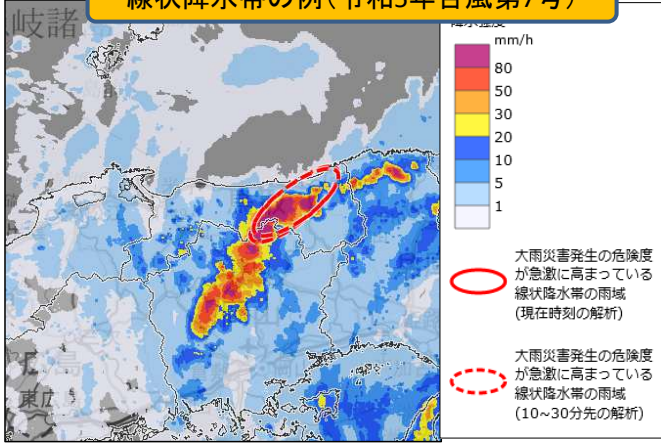
線状降水帯による大雨の新たな運用について ～府県単位での呼びかけを開始しました～

(令和6年5月27日～)

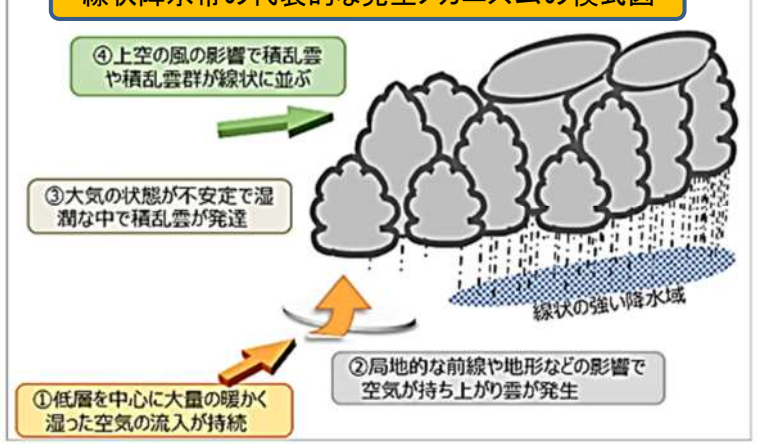
線状降水帯とは

次々と発生する発達した雨雲（積乱雲）が列をなした、組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または停滞することで作り出される、線状に伸びる長さ50～300km程度、幅20～50km程度の強い降水をともなう雨域を線状降水帯といいます。

線状降水帯の例(令和5年台風第7号)



線状降水帯の代表的な発生メカニズムの模式図



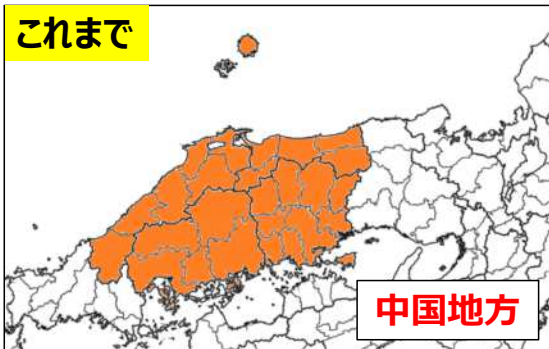
線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ

- 「顕著な大雨に関する気象情報」の発表基準を 満たすような線状降水帯による大雨の可能性が高い場合に、「気象情報」において半日程度前から府県単位で呼びかけ。

5

令和6年から開始する府県単位での呼びかけ（地方／府県気象情報）

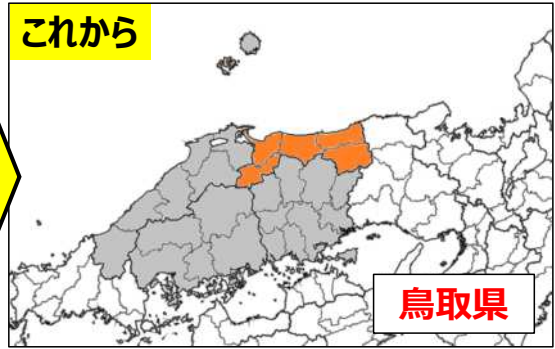
これまで



※呼びかけ対象地域のイメージ

中国地方

これから



※呼びかけ対象地域のイメージ

鳥取県

対象地域を
絞り込んで発表

地方気象情報

大雨に関する中国地方気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇時〇分 広島地方気象台発表

<見出し>
中国地方では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

<本文>
… (中略) …

大雨に関する中国地方気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇時〇分 広島地方気象台発表

<見出し>
鳥取県では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

<本文>
… (中略) …

府県気象情報

対象とならない 広島県、岡山県、鳥根県では、府県気象情報においての呼びかけをしない。

大雨に関する鳥取県気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇時〇分 鳥取地方気象台発表

<見出し>
中国地方では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

<本文>
… (中略) …

大雨に関する鳥取県気象情報 第〇号
〇年〇月〇日〇時〇分 鳥取地方気象台発表

<見出し>
鳥取県では、〇日夜には、線状降水帯が発生して大雨災害発生の危険度が急激に高まる可能性があります。

<本文>
… (中略) …

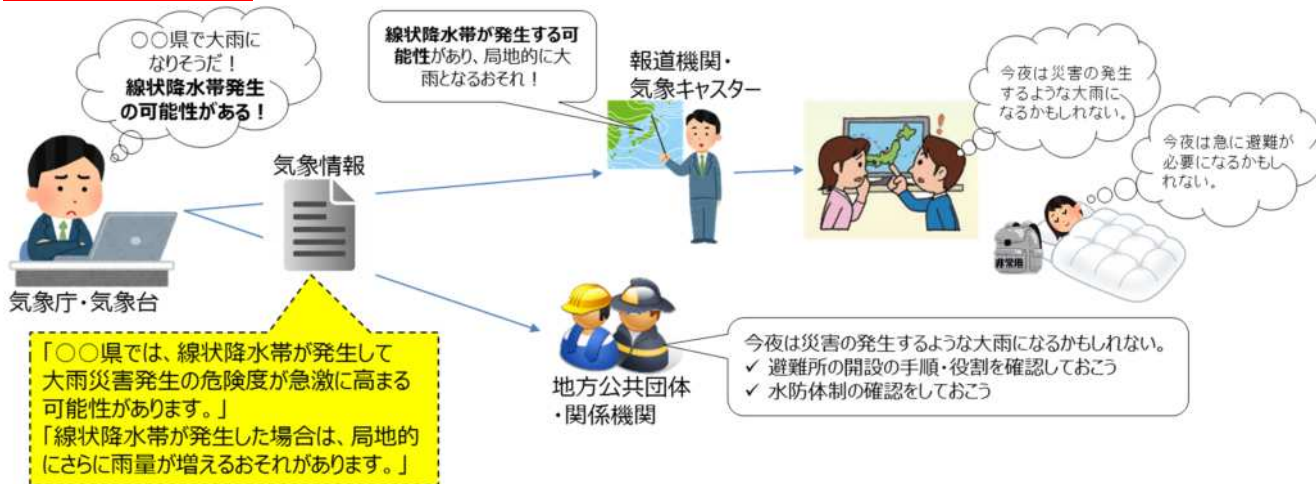
※北海道や沖縄県では、府県予報区単位で発表します。
※鹿児島県では奄美地方を、東京都では伊豆諸島と小笠原諸島を区別して発表します。
※発表する情報の電文フォーマットは変わりません。

6

呼びかけが行われた時の対応例

府県単位で呼びかけを行います、
これまでと対応を変える必要はありません。

- 線状降水帯が発生すると、大雨災害発生の危険度が急激に高まることあるため、心構えを一段高めていただくことを目的としています。この呼びかけだけで避難を促すわけではなく、ほかの大雨に関する情報と合わせてご活用ください。
- 市町村の防災担当の皆さまには、避難所開設の手順や水防体制の確認等、災害に備えていただくことが考えられます。
- 住民の方々には、大雨災害に対する危機感を早めにもっていただき、ハザードマップや避難所・避難経路の確認等を行っていただくことが考えられます。



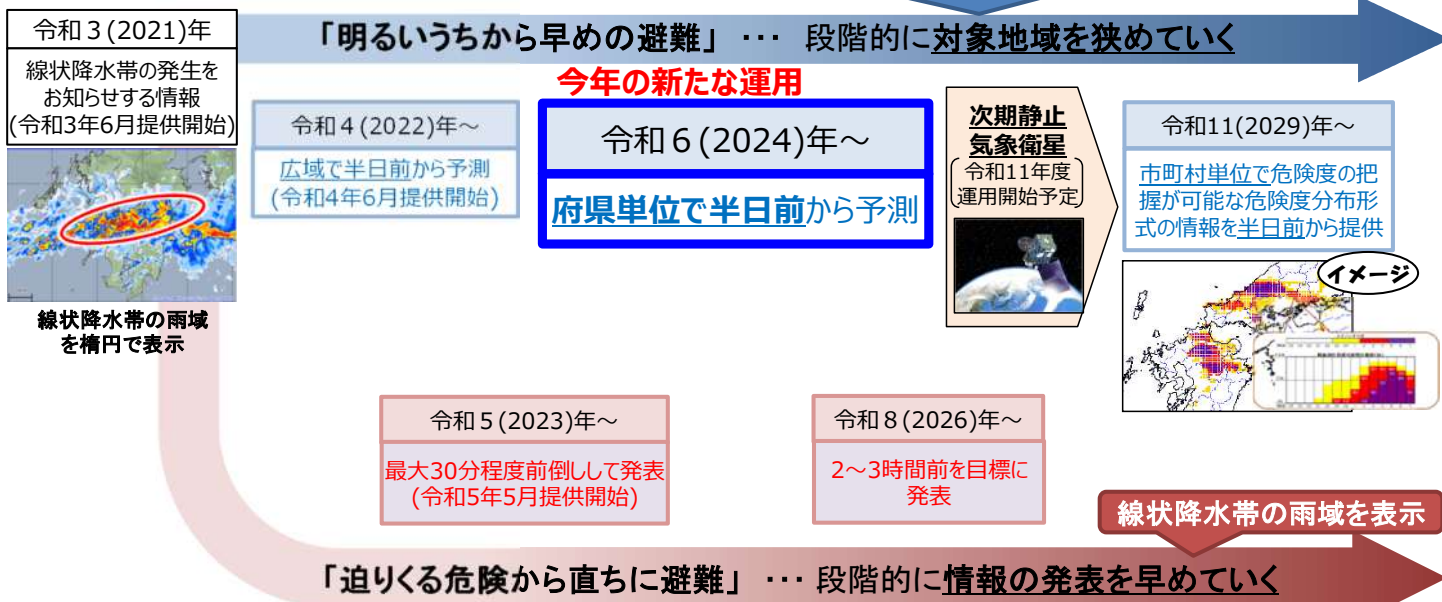
線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけや「顕著な大雨に関する気象情報」といった線状降水帯に関する情報だけでなく、大雨警報やキキクル（危険度分布）等、段階的に発表する防災気象情報全体を適切に活用することが重要です。

線状降水帯の予測精度向上に向けた取組(情報の改善)

観測や予測の強化の成果を順次反映し、令和4年6月より、線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけを、令和5年5月より、「顕著な大雨に関する気象情報」（線状降水帯の発生をお知らせする情報）をこれまでより最大30分程度前倒して発表する運用を開始。

令和6年5月27日からは、令和4年度から開始した半日程度前からの呼びかけを府県単位で実施。

線状降水帯による大雨の可能性をお伝え



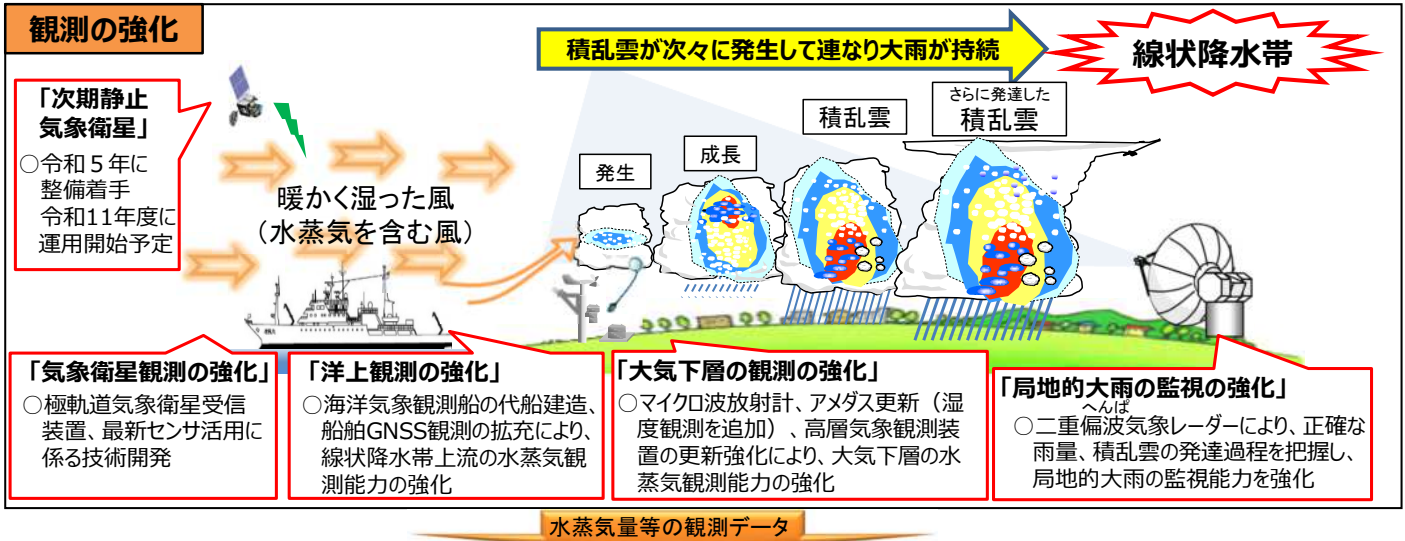
「迫りくる危険から直ちに避難」… 段階的に情報の発表を早めていく

※具体的な情報発信のあり方や避難計画等への活用方法について、情報の精度を踏まえつつ有識者等の意見を踏まえ検討

国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく

【参考】線状降水帯の予測精度向上に向けた取組（観測・予測の強化）

線状降水帯は、現状の観測・予測技術では、正確な予測が困難なため、水蒸気観測等の強化、強化した気象庁スーパーコンピュータや「富岳」を活用した予測技術の開発等を進め、速やかに防災気象情報の高度化に反映し、住民の早期避難に資する情報を提供する。



昨年出水期の特徴

➤ 梅雨

令和5年 梅雨入り 5月29日ごろ
梅雨明け 7月16日ごろ

期間降水量 (5月29日～7月16日)	鳥取	525.0 mm
	米子	506.0 mm
	境	547.5 mm

➤ 気象災害

● 7月13日からの大雨（短時間強雨）

- 梅雨前線の南下により、13日未明から発達した雨雲が日本海から流れ込み、沿岸部を中心に大雨となった。
- 鳥取市青谷では1時間降水量が観測史上1位（72.0ミリ：13日7時11分）、鳥取空港（湖山）では24時間降水量が観測史上1位（227.5ミリ：13日17時40分）の値を更新。
- 大雨により土砂災害の危険度が高まり東部の市町を中心に「土砂災害警戒情報」が発表、また、13日07時21分には「記録的短時間大雨情報（鳥取市気高付近）」が発表された。

<住家被害> 床上浸水13棟、床下浸水44棟

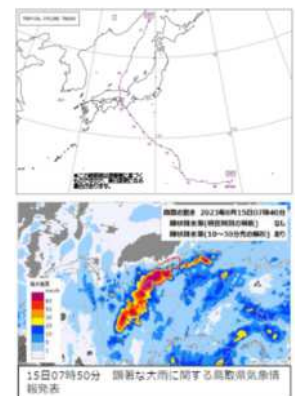
● 台風第7号（線状降水帯、特別警報）

- 台風接近に伴い台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込んだため、局地的に雷を伴った猛烈な雨となり、鳥取市佐治で、観測史上1位となる1時間降水量97.5ミリ（04時52分）、3時間降水量163.5ミリ（06時20分）を観測。
降り始め（14日12時）から17日16時までの雨量（県観測地）
佐治627ミリ、八頭町麻生354ミリ、三朝町中津611ミリ
- 線状降水帯が発生し、07時50分に顕著な大雨に関する鳥取県気象情報発表。日降水量が鳥取市佐治、鳥取市吉方、鳥取市鹿野、智頭で観測史上1位を更新する大雨となり、15日16時40分鳥取市に大雨特別警報が発表された。

<住家被害> 全壊1棟、半壊2棟、床上浸水11棟、床下浸水73棟

<孤立集落> 鳥取市24地域、八頭町2地域、三朝町2地域（857世帯1,820人）

<停電> 5,056戸



➤ 5月から10月にかけての酷暑

- 5月から10月の期間、気温が平年よりかなり高くなった時期があり、県内で熱中症またはその疑いにより救急搬送645件（死亡事例3件、重症事例24件含む）が発生した。
- 鳥取の猛暑日数は33日（6～8月）となり、過去最多。

2 市町村・県民への注意喚起等

(1) 市町村への依頼事項(その1)

■ 防災タイムラインを活用し、早めの災害対応

1 住民への注意喚起

誰ひとり逃げ遅れることなく安全に避難する意識を住民一人ひとりが持つよう、改めて住民に周知してください。

- ・ 早め早めに安全な場所に避難すること（自主避難含む）
- ・ 「警戒レベル3」で、高齢者等避難に時間を要する者が避難開始すること
- ・ 「警戒レベル4」で、全員危険な場所から避難すること
- ・ 「警戒レベル5」で、高台への移動、近傍の堅固な建物への退避など、直ちに安全を確保すること
- ・ 防災・気象情報をこまめにチェックすること など

2 避難情報等の発信と周知

住民の身体・生命の安全確保のため、確実に避難行動が行われるよう、的確な避難情報の発信と周知をお願いします。

- ・ 夜間・危険な状況での避難とならないよう、早めの避難情報発出を検討して下さい。
※状況急変時は、夜間でも避難情報の発出が必要
- ・ 避難情報発出にあたっては、気象・河川水位等の情報を収集し、必要に応じて県関係課に助言を求めてください。
- ・ 確実に住民へ避難情報が伝達されるよう、防災行政無線他様々な手段による伝達をお願いします。
- ・ 通勤・通学時に大雨が予想される場合等は、無理な外出を控える等の呼びかけを検討ください。
- ・ 小中学校の臨時休業の基準や連絡体制等を改めて確認してください。

11

(1) 市町村への依頼事項(その2)

3 事前の準備

災害の未然防止、災害発生時の確実な対策実施のため、事前の準備をお願いします。

浸水リスクが高い地域の対策の準備

過去に浸水被害があった地域、孤立可能性集落など、対策の再確認

- ・ 詰まりやすい用水路の点検や清掃
- ・ 河川に接続する農業用取水、排水樋門や操作が必要な取水堰の点検と適切な操作体制の確認
- ・ 水位計や監視カメラがない中小河川の状況を収集する体制、連絡系統の確認
- ・ 必要に応じて排水ポンプ車の要請 など

初動体制の確立

夜間や時間外を踏まえた、参集・対応体制の確認

- ・ 職員参集体制の確認（時間外参集、呼び出し基準、参集人員）
- ・ 気象情報の収集伝達方法・体制の確認
- ・ 常時オンライン情報共有の接続準備（機材、URLなど）

避難体制の確立

住民の避難が確実にできるよう、体制の確認

- ・ 避難情報の発令基準の確認
- ・ 消防団等への連絡手段の確認
- ・ 避難所の開設準備、開設手順、開設の連絡方法 等

避難行動要支援者等の支援

高齢者、障がい者等の避難行動要支援者や、要配慮者利用施設など、避難が困難な方の支援について準備

- ・ 個別避難計画作成者等への情報伝達手段、避難支援体制等の確認
- ・ 要配慮者利用施設等への情報伝達体制、避難誘導支援等の確認

12

(1) 市町村への依頼事項(その3)

4 被害規模の早期把握に向けた被害状況の迅速な報告

迅速な救助や関係機関の速やかな応援のため、避難所（支え愛避難所含む）の開設状況、孤立集落、被害情報等の迅速な報告をお願いします。（定時報告に限らず、緊急時には随時報告をお願いします。）

5 避難所の開設及び環境整備等

避難所の早めの開設と、避難行動が促進されるよう避難所環境の確保をお願いします。

避難所環境の確保

避難行動促進のため、避難者ができるだけ快適に過ごせる環境の整備

- 避難所における**熱中症予防対策**の実施（大型扇風機・空調装置（エアコン）の設置、こまめな水分補給の呼びかけなど）
- ベッド、テント、パーティションなどによるプライバシー環境の確保
- 福祉避難所の開設 等

避難所の感染症対策

人が多く集まる避難所では**基本的な感染症対策**を取ってください

- ① 可能な限り多くの避難所を開設
- ② 避難者の健康状態の確認
- ③ マスク着用の推奨、頻繁な手洗い、咳エチケット等基本的な衛生対策の徹底
- ④ 避難所内での定期的な換気の実施、避難者同士の十分な間隔を確保

(2) 県民への注意喚起等(その1)

1 最新の気象情報等に注意

最新の気象情報や防災情報（土砂災害、河川の状況等）を確認して早めの避難をお願いします。

気象情報

▶ **気象庁ホームページ** <https://www.jma.go.jp/>
キキクル(危険度分布)/台風情報 / 警報・注意報 など



▲キキクル（土砂災害・浸水害・洪水害の危険度）

避難情報・避難所開設

- 各市町村ホームページ
- 防災行政無線
- エリアメール など

▶ 防災情報ポータルサイト



6/28～
先行公開
河川水位など
より見やすく！

河川の状況

▶ **河川監視カメラ提供システム**

川や用水路の様子

<http://kasenkanshi-data.users.tori-info.co.jp/>

県の発信ツール

鳥取県の防災情報お届けツールはこちらのQRコードから



<https://www.pref.tottori.lg.jp/210753.htm>

避難情報・避難所開設状況/交通情報/道路情報/ライフライン情報 など

▶ **ホームページ「とりネット」**
<https://www.pref.tottori.lg.jp/>

注意情報などのまとめページを設置（トップページの「防災・救急」又は特設リンクから）

▶ **「あんしんトリピーメール」**

スマホ、携帯電話等に気象情報・防災情報等をメールで配信

▶ **防災アプリ「あんしんトリピーなび」**

「あんしんトリピーメール」のプッシュ通知や最寄りの避難所情報など
9言語に対応



▲特設リンク

その他

▶ **テレビのデータ放送**
リモコンの「dボタン」から

▶ **各種スマートフォンアプリ**

Yahoo!防災速報 など



(2) 県民への注意喚起等(その2)

2 災害リスクの確認、防災対策

ハザードマップで家の周囲の災害リスクや避難場所を確認するほか、あらかじめ大雨や強風に備えてください。

ハザードマップの確認など

ハザードマップポータルサイト
<https://disaportal.gsi.go.jp/>



- 自宅の危険度（浸水深、土砂災害警戒区域）を確認。
- 避難場所までのルートをあらかじめ確認。



災害時の行動確認

- 家族で災害時の行動についてあらかじめ確認してください。
 避難場所をあらかじめ決めておく、避難ルートを確認、避難に備えてマイ・タイムラインを作成など。

災害前の備え

気象が悪化する前に、準備をお願いします。

大雨への備え

- 大雨や台風接近のニュースや気象情報などを入力したら、早く帰宅し、家族と連絡を取り合う。
- 大雨時に溢水するおそれのある雨どい、側溝、排水溝の掃除。

強風への備え

強風への備えをしておく

- 家の周囲の倒れやすいものは、固定か家の中に入れる。
- 窓ガラスに飛散防止用のフィルムを貼っておく。
- 停電・断水に備え、食料・水を備蓄する。

強風が吹いている間は注意を怠らない

- 飛散物や転倒による負傷を避けるため、不要不急の外出は控える。
- 窓やシャッターを閉め、窓ガラスの飛散防止のためカーテンも閉める。

15

(2) 県民への注意喚起等(その3)

3 災害情報に基づく早めの避難行動

避難開始の合図となる情報を「避難スイッチ」としてください。（気象警報、避難情報、キキクルの危険状況等）

警戒レベルと避難行動

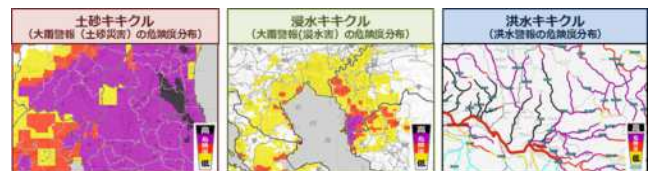
- 早めに安全な場所に避難
- **「警戒レベル3」、高齢者等避難に時間を要する者が避難開始**
- **「警戒レベル4」、全員危険な場所から避難**
- **「警戒レベル5」、高台への移動、近隣の堅固な建物への退避など、直ちに安全を確保**

警戒レベル	住民がとるべき行動	市町村の情報	気象庁等の情報	近隣の川
5	命の危険 直ちに安全確保！ すでに安全な避難所がある。命が危険な状況、いまだに避難所より安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 （命の危険が迫る状況）	大雨特別警報 災害切迫	氾濫発生情報
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞				
4	危険な場所から 全員避難 ・お盆などの移動が予想される場合は、暴風や大雨による浸水に避難を完了させてください。	避難指示	土砂災害警戒情報 危険	氾濫危険情報
3	危険な場所から 高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じて、避難の準備を完了し、自主的に避難する。	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報 警戒	氾濫警戒情報
2	自分の 避難行動を確認 1階・2階の階層により、自宅周辺の浸水状況を確認するなど、避難行動の準備を確認してください。		大雨注意報 洪水注意報 注意	氾濫注意情報

「キキクル」で危険を確認

「キキクル」とは <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

大雨や洪水による災害の危険が、どこで、どのレベルで迫っているかを、地図上で視覚的に知ることができる情報です。



近くの川や自宅が「紫」なら避難を

避難判断にあたっての注意

- 中小河川は水位が一気に上昇する。
- 土砂災害の前兆現象に注意。（裏山等からの濁水、湧水、異音、異臭など）
- 外に出るのが危険な時は、屋内の少しでも安全なところへ避難。（2階、斜面から離れた部屋など）
- 雨が止んだ後や弱い雨のときでも災害発生の危険。（令和3年熱海市の土石流など）

16

(2) 県民への注意喚起等(その4)

4 避難等にあたっての注意事項

周囲の状況を確認し、安全を確保して避難してください。

避難時の注意

周辺が浸水した状態では、足元が見えず、ふたの外れたマンホールや側溝に落ちるおそれがあり、外を移動するのは大変危険です。

あらかじめ周辺の危険性を確認し、避難所への避難経路の安全性を確保してください。

冠水した道路を移動するときは、長靴をはかずに歩きやすい服装で、棒状のもので足下を確認しながら、できるだけ2人以上で行動してください。

内水氾濫に注意

急激な大雨で、水路等から道路などへ水があふれ冠水する「内水氾濫」が発生することがあります。

河川の状況を確認して**内水氾濫と判断される場合、無理に屋外へ移動せず、屋内のなるべく高い場所等へ垂直避難してください。**

浸水深が浅いときは、土のう等の設置により、家屋への浸水を防ぎ、風呂・洗濯機・トイレ等の排水口を水のう栓するなど逆流を防いでください。

停電への備え

懐中電灯、携帯ラジオ、モバイルバッテリー、携帯電話の充電器などを準備してください。

冠水に自動車で進入しないでください

エンジンが停止し立ち往生する危険性があります。

自動車での冠水箇所への進入や、道路や鉄道などの下を通る「アンダーパス」など周囲より低い場所の自動車通行を避けてください。

万が一、車内にまで浸水してしまった場合は、速やかにエンジンを停止し、車外へ避難してください。

大雨の際にはできるだけ運転を控えてください。

▶冠水危険箇所（鳥取県WEBサイト）

URL : <https://www.pref.tottori.lg.jp/312616.htm>



食料・水等の備蓄

浸水の長期化で外出が困難になったときに備え、食料・水・生活必需品等を備蓄してください。

（最低3日分、推奨7日分）

【備蓄の例】

飲料水 3日分（1人1日3リットルが目安）

非常食 3日分の食料として、ご飯（アルファ米など）、

ビスケット、板チョコ、乾パンなど

トイレトーパー、ティッシュペーパー・マッチ、ろうそく・カセットコンロ など

17

3 警戒・即応体制の確保等

(1) 県の体制

●県の体制区分（大雨・台風関連）

- **注意体制** 気象注意報（大雨・洪水・高潮等）、水防警報（待機・準備）
- **警戒体制（1）** 気象警報（大雨・洪水・高潮・大雪・暴風等（陸上での最大風速が25m/s以上となることが予想される時））
水防警報（出勤、指示）、河川洪水注意報・警報 等
- **警戒体制（2）** 記録的短時間大雨情報、土砂災害警戒情報
台風の暴風域が鳥取県を通過、河川洪水警報
顕著な大雨に関する情報 等
→鳥取県災害警戒本部を設置
- **非常体制** 特別警報、県下全域にわたる風水害 等
→鳥取県災害対策本部を設置

⇒台風の暴風域が本県を通過する場合等、状況に応じ、早めに災害警戒・応急対応を行う体制に移行します。

各部局、各市町村におかれては、連絡・即応態勢の確保・再確認をお願いします

- ◆ 警戒体制(2)以上の時などに県から市町村にリエゾンを派遣。
- ◆ 市町村の災害対応力を超えると予想される場合に、被災市町村へ支援チームを派遣。
- ◆ 関係機関相互の合同対策協議(情報共有等)のため、必要に応じてweb会議(常時接続)を開設

18

3 警戒・即応体制の確保

(2) 県の対応

公共土木施設の対応

1 河川・ダム・砂防

(1) 県内河川における確実な排水機場の稼働及び適切な樋門操作

- ・排水機場が確実に稼働するよう、事前点検を実施済。
- ・樋門等の適切な操作及び住民避難等に関する情報の発信・伝達、点検、体制強化を図っている。
- ・浸水常襲箇所への排水ポンプ車や人員の配置体制を確認済。
※排水ポンプ車配備台数：東部地区(国2台、県3台)、中部(国4台、市1台)、西部(国1台、県1台)
- ・高潮には注視のうえ、市町村と連携して、河川及び湖沼の適切な樋門操作を徹底する。
- ・令和5年度に水位計2基、河川監視カメラ3基を増設済(累計：水位計166基、カメラ165基)。

(2) ダムの管理

- ・治水ダムについては、洪水に備え、治水容量を確保済。
- ・なお、治水協定に基づき、県内すべての治水ダム・利水ダム双方とも、必要に応じて事前放流等を実施する。
- ・ダム放流の実施にあたっては、下流住民へ情報伝達を適時・的確に行う体制をとることを再確認済。
- ・気象状況・ダム水位等を注視しつつ、できる限り早期に関係市町村及び下流住民に放流予告を連絡周知する。
- ・防災情報発信、ダム放流情報等がわかりやすく伝わるよう、とりネット上にダム情報の専用ページを新設済。

19

公共土木施設の対応

2 道路

(1) 高速道路等の事前通行規制(県土整備部、国土交通省)

- ・鳥取道及び山陰道については、一定の区間ごとに設定されている基準雨量を超過した場合に事前通行止めすることとしており、国土交通省と連携し、道路情報板や案内看板で迂回路(国道53号、国道9号等)へ誘導する。

(2) 冠水等への対応

- ・冠水による道路規制に備え、カメラによる監視・大雨時のパトロールを強化し、冠水が発生した際に速やかに交通誘導等の対応ができるよう、体制を確保する。

3 パトロール・応援協定

(1) 大雨・強風時のパトロール体制等

- ・現在稼働している工事現場については、現場内の土砂流出や資材の固定状況などの現場点検を実施し、安全対策を徹底する。
- ・線状降水帯による局地豪雨予報(6/1から気象庁運用)を踏まえて、県内全域での大雨等の発生や推移に応じたパトロールや水防活動を行う。

(2) (一社)鳥取県建設業協会と災害時応援協定に基づく対応

- ・災害発生時には、「災害時における応急対策業務等に関する基本協定書」に基づいて対応していただくよう、(一社)鳥取県建設業協会に事前に要請済。

20

4 災害発生時における初動体制の強化

令和5年台風第7号を教訓として、災害発生時の災害調査及び測量設計をより迅速に実施するため、地域関係者と連携した初動体制を構築

(1) (一社)鳥取県測量設計業協会との調整

- ・ 発災直後から初動調査へ参加できるよう、災害応援協定(業務の内容)を拡充
- ・ ドローン等の先端技術を活用した、山間奥地を含む被災状況の早期把握及び測量

(2) 鳥取県土木防災・砂防ボランティア協会との調整

- ・ 被災時の現地調査への同伴、復旧方針及び工法検討への助言
- ・ 平時の災害復旧技術の研鑽及び所局担当者への研修指導

5 関係機関と連携した訓練等

(1) 日野川総合水防演習

- ・ 中国地区の関係機関等(約1,000人)が参加し、水防工法、人命救助、情報伝達等の訓練を実施(5/25)

(2) 風水害対策訓練

- ・ 中国地方整備局、中国5県が連携して河川、海岸、ダムに係る情報伝達訓練を実施(5/10)

(3) 土砂災害に対する防災訓練

- ・ 県関係機関、県内市町(境港市を除く)、警察、消防が参加し、情報伝達等の訓練を実施(5/31)

(4) 県管理河川の流域治水及び減災対策協議会

- ・ 県内直轄事務所、県、市町村、気象台等により連携・協力して行うハード・ソフト対策の推進状況の共有と令和5年台風第7号における出水対応や対策について情報共有と意見交換を実施(6/5)

21

農林漁業者等への注意喚起

1 農業関係

○農作物等の管理について、各市町村、農協、農林局等へ対策を講じるよう連絡。(5/31)

[連絡内容] 農作物の管理について(水稻、麦、大豆、野菜、花き、果樹、飼料作物、家畜)

[農作物の状況と現場の対応]

スイカ	トンネル栽培は果実肥大中(6月下旬から出荷予定)。排水対策及び降雨前後の防除指導。
白ネギ	夏ネギの出荷始め(5月20日から出荷開始、進捗1割程度)。排水対策及び降雨前後の防除指導。
ブロッコリー	初夏どり作型が出荷中(出荷約5割終了)。排水対策及び降雨前後の防除指導。

2 農地・ため池関係

○大雨に対する防災態勢の強化について、各市町村、農林局へ依頼。(5/27)

3 林業関係

○各農林局等から管内事業者及び各市町村に対して土砂災害等の注意喚起を行った。併せて、二次災害発生防止に向けて情報収集と安全管理の呼びかけを依頼(6/4)。

○各林業関係組合に対して、土砂災害等の注意喚起を行い、各組合員への安全対策・安全管理の徹底を依頼(5/31)。

4 水産関係

○市町村及び各漁業協同組合や水産関係団体向けに、注意喚起を実施。(5/31、6/3)

公共交通機関の対応

◆公共交通機関への注意喚起

公共交通機関の連絡体制の再確認(6/4)及び情報提供を実施
※休日・夜間を含め、交通事業者との連絡体制を確立済

⇒関係機関への情報提供、関係機関からの情報収集に努め、あんしんトリピーメールや県ホームページで随時情報提供を行う。



23

関係機関の対応

中国電力(株)・中国電力ネットワーク(株)の対応

○対応体制の整備

・グループ会社を含めた連絡体制の確認、事態に即応した対応体制移行 など

○停電の早期復旧に向けた取組み及び迅速な情報発信

・速やかな被害状況の確認・原因の特定、情報収集にあたっての自治体等との連携 など
・ビジネスチャットを使用した県土整備局様・N T T 西日本様との倒木情報の共有
・停電情報アプリ、ホームページ等を活用した情報発信 など

○県民の皆さんへのお願い

・切れた電線や垂れ下がった電線には絶対に近づいたり、触れたりしないでください
・電柱・電線等が壊れているのを発見した場合、中国電力ネットワークへ連絡してください

○県関係機関との連携強化

- ・県土整備局様、中国電力NW様とのビジネスチャットを使用した倒木等被害の連絡体制構築済み
- ・気象台様からの情報、SNS等からの被害情報の収集体制強化
- ・ホームページ、広報車等を活用した通信サービスに関する迅速な情報発信

○災害対策機器の点検、準備

- ・小型ポータブル衛星電話、ドローン、移動電源車等の災対機器の点検、準備済み
- ・浸水の想定される通信設備設置局舎への浸水防止板設置（8局舎）済み

○社内関係部への指示

- ・被害に備えた保守体制強化、リエゾン派遣の準備を指示済み

4 その他 出水期に備えた防災・減災の取組

1 危険木等事前伐採の推進

倒木による集落の孤立やライフライン障害の発生等を防止するため、県・市町村・森林組合・事業者が連携し、危険木等の事前伐採を推進。

【実施状況等】

- 令和5年度実施実績：23地区（10市町）
- 令和6年度実施予定：25地区（8市町）
- ※令和6年度県予算 2,000万円

【事前伐採の事例（令和5年度）】
＜若桜町赤松＞



2 災害対策本部訓練

○実施日時,場所

令和6年5月28日(火) 13:30~16:00 鳥取県災害対策本部室

○訓練想定

令和5年台風第7号の事案を基に、集中豪雨による千代川氾濫を想定（ブラインド形式）

○訓練目的

- ・事務局職員の能力向上
（体制移行の手順確認、新任者への指導等）
- ・県の災害対応力向上
（被害状況図の作成、防災関係機関との連携等）



○訓練参加者

約40人（危機管理部、他部局応援職員）